

測量設計業務の発注手続き後、年度内をめぐり復旧工法を決定し、令和6年度には対策工事に着手したいと考えている。

◎令和5年度白石市一般会計補正予算(第9号)  
(定例会最終日提案)

〔質疑〕物価高騰対策給付金給付事業として約2億7千800万円を計上しているが、この事業の詳細を伺う。

〔答弁〕エネルギー、食料品等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、一世帯当たり7万円を給付するものである。

住民税非課税世帯、一世帯当たり3万円を支給した、令和5年度電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業と支給対象世帯等の内容に変わりはないことから、課税状況や転入・転出等の対象条件に変更がなければ、合わせて10万円の支給となる。

予算審査特別委員会

第101号議案・令和5年度白石市一般会計補正予算(第8号)および第102号議案・令和5年度白石市介護保険特別会計補正予算(第3号)の計2議案について、定例会4日目(12月11日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・高子秀明、副委員長・角張一郎)は、12月12日に審査を行い、全ての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和5度白石市一般会計補正予算(第8号)

〔質疑〕PFIによる道の駅・防災公園整備運営事業について、債務負担行為限度額の約62億9千万円は、令和8年度までの施設整備として約44億1千万円、令和9年度開業からの15年間の維持管理運営費として約18億7千万円との説明を受けたが、より詳細な内容を伺う。

〔答弁〕施設整備費の概算内訳として、道の駅が23億3千700万円、防災公園が20億8千200万円、15年間の維持管理運営費に

18億7千100万円を見込んでいるが、より詳細な内訳については、PFI事業者の募集に際し、各事業者が見積もり等を作成することになる。民間事業者の創意工夫を最大限に取り入れていく。

〔質疑〕当事業の財源の内訳を伺う。

〔答弁〕国県支出金18億6千418万6千円、地方債18億9千140万円、その他4億4千141万9千円、一般財源20億9千358万7千円となっている。

〔質疑〕中心市街地や地元企業の育成・保持と、スマートインフラの総合整備は、ど

のような関連で進めようとしているのか伺う。

〔答弁〕道の駅の運営業者等に地元業者も加わっていたとき、数社で共同体を組み、運営に当たっていたか考えている。地元の業者にも加わっていた方がいいということは、白石商工会議所を通じて説明を行なっており、令和5年10月にはSPC(特定事業のために設立された法人)関係の説明会も行なっている。

建設工事の関係は、PFI事業者の決定後、地元の業者との関連を検討していただきたいと考えている。

〔質疑〕一人と地域が輝く未来共創交付金を活用した、小原地区における住民主体の地域ポランティア送迎について、具体的にどういったサービスが提供されるのか伺う。

〔答弁〕小原地区のポランティア送迎「おらいのくるま」は、小原地区内を運行範囲とし、自宅から地区内のバス停、小原公民館、郵便局、各集会所などへの週1回の運行を予定している。対象は小原地区民のみで、原公民館へ事前の利用登録と予約が必要となる。

総務費

〔質疑〕既存の公共交通では対応できないような山間地域等において、住民主体の新たな移動外出サービスの整備を検討していただきたいと考えている。

まずは地域内の交通のしくみづくりに関して話し合いの場を設け、各地区の実情に合った地域内交通の運行計画の策定や実証実験、本格運行に「人と

地域が輝く未来共創交付金」の活用をしていただければと考えている。

〔質疑〕小原地区のポランティア送迎「おらいのくるま」は、小原地区内を運行範囲とし、自宅から地区内のバス停、小原公民